

利用者状況

平成27年度介護予防・日常生活支援総合事業に関する アンケート調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成29年度から、従来予防給付として提供されていた訪問介護と通所介護が、市が地域の実情に応じて実施する「地域支援事業」の「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）」に移行することとなります。

そこで、本調査は、地域包括支援センターにおいて利用されている介護予防訪問介護サービス、介護予防通所介護サービスの実態を把握するとともに、サービスの利用目的についてのニーズを把握するために実施したものです。

(2) 調査方法

【調査期間】平成27年5月から平成27年6月まで

【配布方法】各地域包括支援センターに郵送配布、郵送回答

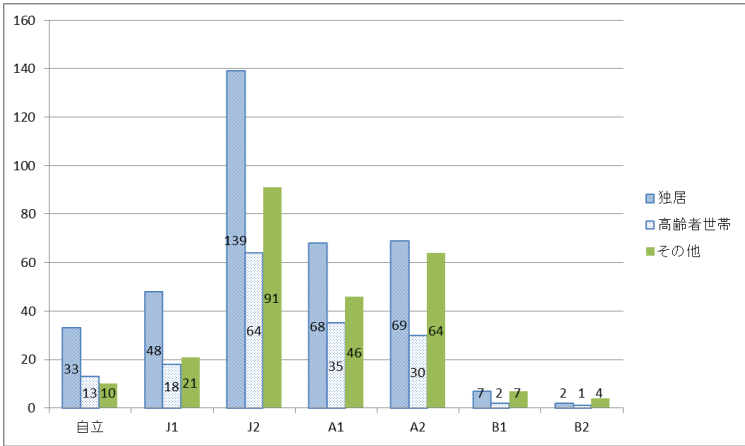
2 調査結果の要約

世帯構成

(1) 寝たきり度順

障がい自立度 B2 以外は、独居の方が 40%以上、高齢者世帯の方も 50%以上となっている。

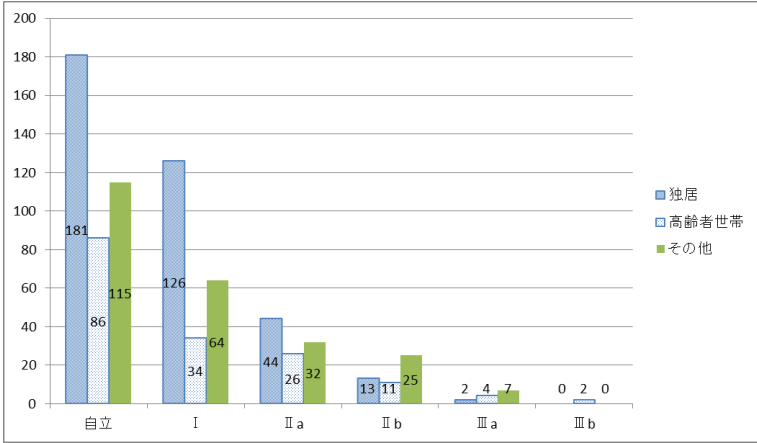
障がい自立度	独居	高齢者世帯	その他	合計
自立	33	13	10	56
J1	48	18	21	87
J2	139	64	91	294
A1	68	35	46	149
A2	69	30	64	163
B1	7	2	7	16
B2	2	1	4	7
合計	366	163	243	772



(2) 認知度順

認知症自立度Ⅱaまでは、独居の方が 43%、高齢者世帯も 70%を超えている。

認知症自立度	独居	高齢者世帯	その他	合計
自立	181	86	115	382
I	126	34	64	224
Ⅱ a	44	26	32	102
Ⅱ b	13	11	25	49
Ⅲ a	2	4	7	13
Ⅲ b	0	2	0	2
合計	366	163	243	772



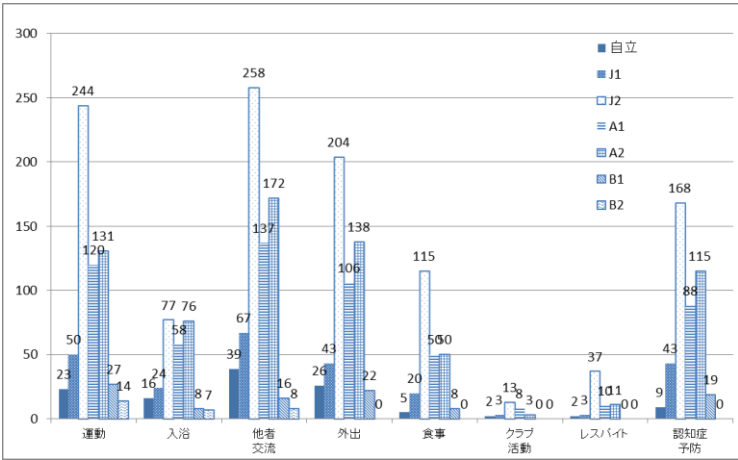
自立・要支援の方の多くが、独居若しくは高齢者世帯として生活しており、自宅で生活を続けていくための支援（見守りを含む）が今後必要であることが分かる。

介護予防通所介護【利用目的】

(1) 寝たきり度順

障がい自立度に関係なく、運動、他者交流及び外出を目的として利用している高齢者が多い。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 82%の割合を占めている。

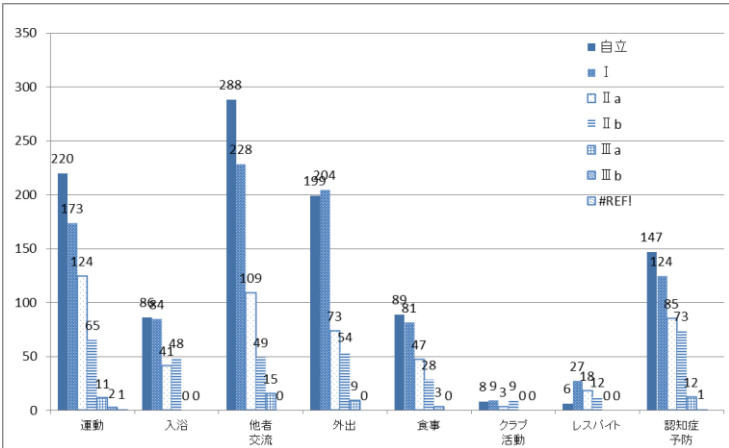
障がい自立度	運動	入浴	他者交流	外出	食事	クラブ活動	レスパイト	認知症予防	合計
自立	23	16	39	26	5	2	2	9	122
J1	50	24	67	43	20	3	3	43	253
J2	244	77	258	204	115	13	37	168	1116
A1	120	58	137	106	50	8	10	88	577
A2	131	76	172	138	50	3	11	115	696
B1	27	8	16	22	8	0	0	19	100
B2	14	7	8	0	0	0	0	0	29
合計	609	266	697	539	248	29	63	442	2893



(2) 認知度順

認知症自立度に関係なく、運動、他者交流及び外出を目的として利用している高齢者が多い。また、認知症自立度自立からⅡaまでの利用者だけで 86%の高齢者が利用している。

認知症自立度	運動	入浴	他者交流	外出	食事	クラブ活動	レスパイト	認知症予防	合計
自立	220	86	288	199	89	8	6	147	1043
I	173	84	228	204	81	9	27	124	930
Ⅱa	124	41	109	73	47	3	18	85	500
Ⅱb	65	48	49	54	28	9	12	73	338
Ⅲa	11	0	15	9	3	0	0	12	50
Ⅲb	2	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	595	259	689	539	248	29	63	442	2864



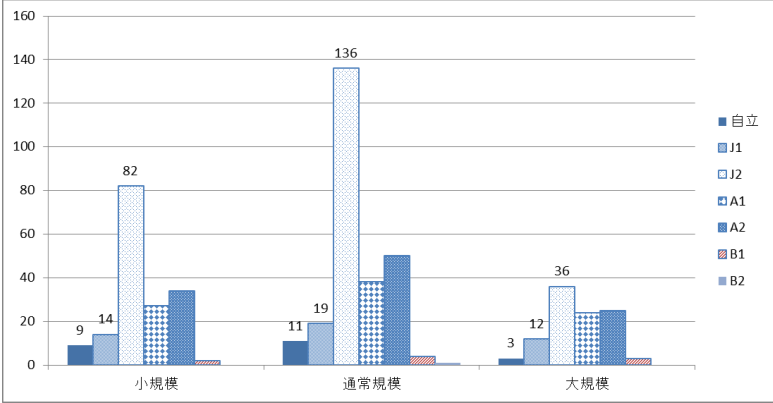
運動、他者交流及び外出を利用目的としている高齢者が多く、在宅生活を送るうえで閉じこもりにならないよう、人との関わりを持ち続けることへの意欲が高いことが分かる。

介護予防通所介護【利用規模】

(1) 寝たきり度順

障がい自立度に関係なく、小規模・通常規模の事業所に多く通所している。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 85%の割合を占めている。

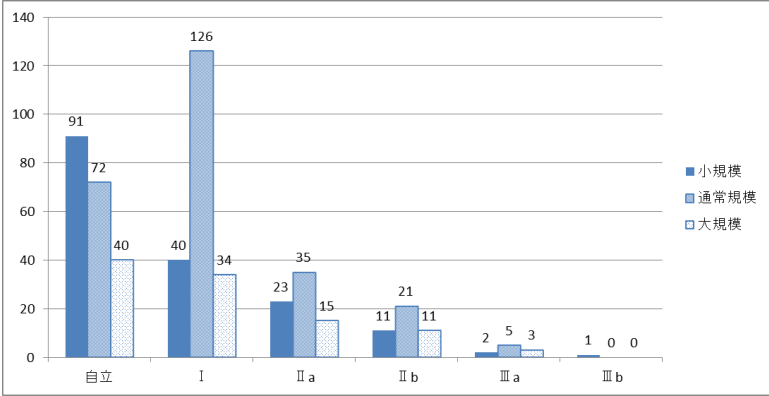
障がい自立度	小規模	通常規模	大規模	合計
自立	9	11	3	23
J1	14	19	12	45
J2	82	136	36	254
A1	27	38	24	89
A2	34	50	25	109
B1	2	4	3	9
B2	0	1	0	1
合計	168	259	103	530



(2) 認知度順

自立している者は、小規模の事業所に多く通所しているが、それ以外の利用者は通常規模の事業所に多く通所している。

認知症自立度	小規模	通常規模	大規模	合計
自立	91	72	40	203
I	40	126	34	200
II a	23	35	15	73
II b	11	21	11	43
III a	2	5	3	10
III b	1	0	0	1
合計	168	259	103	530



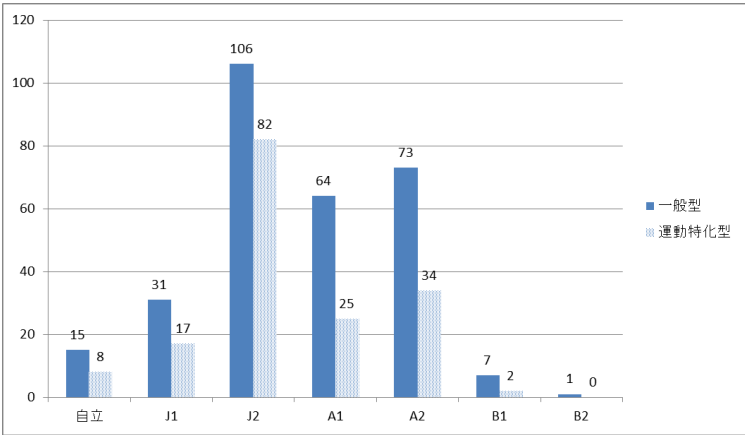
障がい自立度、認知症自立度に関係なく、大規模事業所の利用者が少ないことから、地域に密着した事業所でのサービス利用を希望していることがわかる。

介護予防通所介護【利用種類】

(1) 寝たきり度順

一般型サービスの利用者が多く、障がい自立度が低くなるほど一般型サービスの利用率が高くなる。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 82% の割合を占めている。

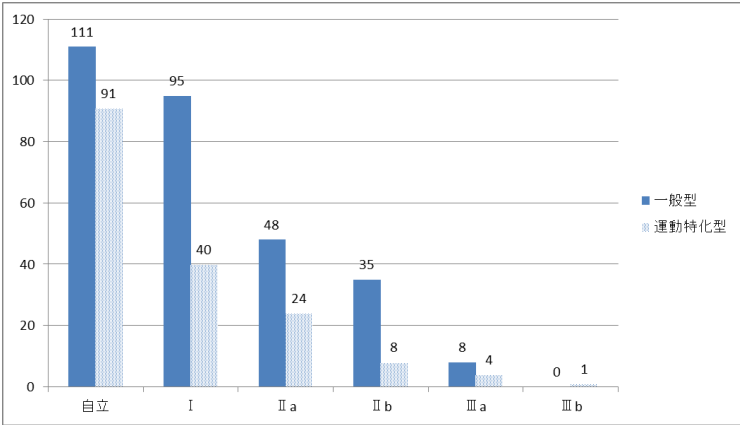
障がい自立度	一般型	運動特化型	合計
自立	15	8	23
J1	31	17	48
J2	106	82	188
A1	64	25	89
A2	73	34	107
B1	7	2	9
B2	1	0	1
合計	297	168	465



(2) 認知度順

認知症自立度が低くなるほど一般型・運動特化型の利用者は減っている。

認知症自立度	一般型	運動特化型	合計
自立	111	91	202
I	95	40	135
II a	48	24	72
II b	35	8	43
III a	8	4	12
III b	0	1	1
合計	297	168	465



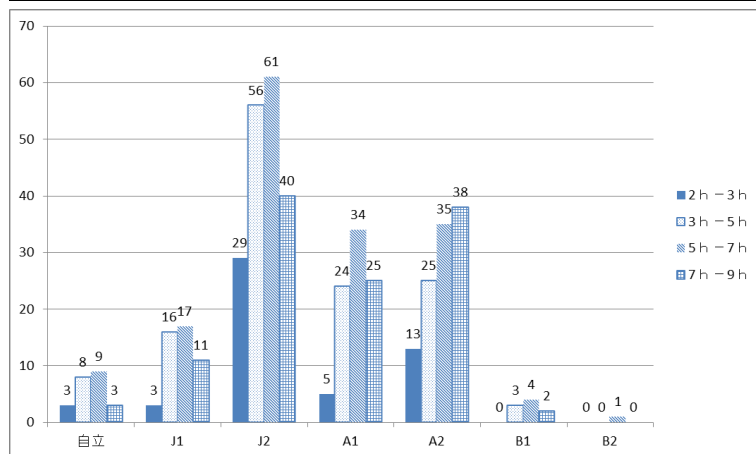
一般型サービスの利用希望者が多いが、障がい自立度で見ると、身体的に一部支援を要する高齢者は運動機能特化型を希望する利用者が多いことがわかる。

介護予防通所介護【時間区分】

(1) 寝たきり度順

障がい自立度 A2 以外では、5～7h の利用者が最も高い。

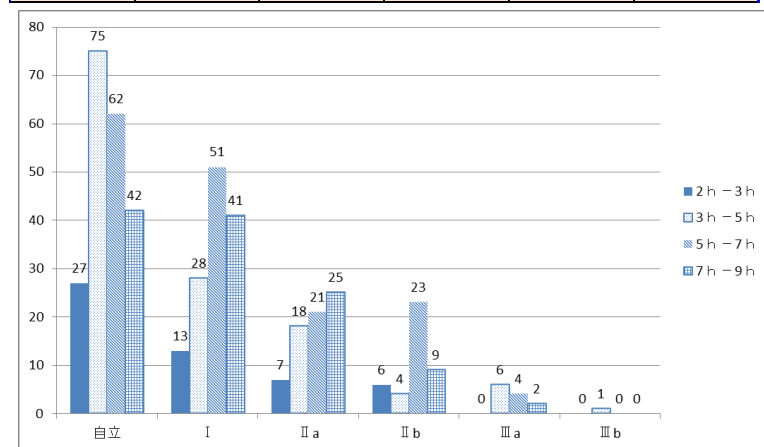
障がい自立度	2h-3h	3h-5h	5h-7h	7h-9h	合計
自立	3	8	9	3	23
J1	3	16	17	11	47
J2	29	56	61	40	186
A1	5	24	34	25	88
A2	13	25	35	38	111
B1	0	3	4	2	9
B2	0	0	1	0	1
合計	53	132	161	119	465



(2) 認知度順

利用時間に認知症自立度によってのまとまりはないが、5～7h の利用者が最も多い。

認知症自立度	2h-3h	3h-5h	5h-7h	7h-9h	合計
自立	27	75	62	42	206
I	13	28	51	41	133
II a	7	18	21	25	71
II b	6	4	23	9	42
III a	0	6	4	2	12
III b	0	1	0	0	1
合計	53	132	161	119	465



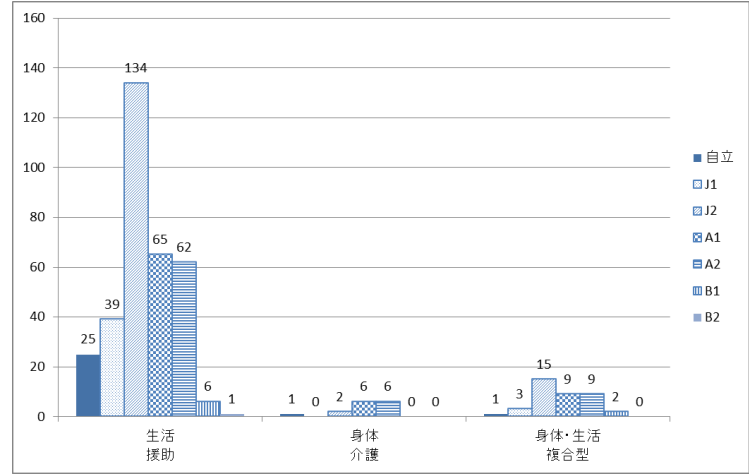
障がい自立度及び認知症自立度において、5～7h の利用が多く、2～3h の利用が少ない。このことから、長時間サービスを利用し、自宅にいる時間を少なくしていることが分かる。

介護予防訪問介護【支援区分】

(1) 寝たきり度順

障がい自立度に関係なく、生活援助サービスの利用者が圧倒的に多い。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 80% 近くの割合を占めている。

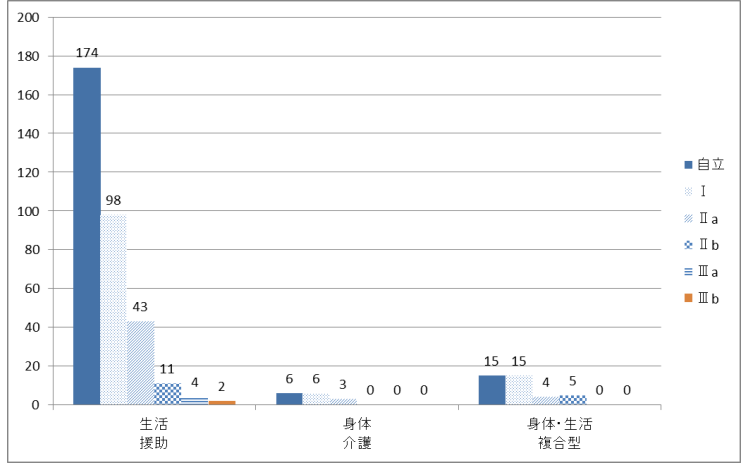
障がい自立度	生活援助	身体介護	身体・生活複合型	合計
自立	25	1	1	27
J1	39	0	3	42
J2	134	2	15	151
A1	65	6	9	80
A2	62	6	9	77
B1	6	0	2	8
B2	1	0	0	1
合計	332	15	39	386



(2) 認知度順

認知症自立度に関係なく生活援助サービスの利用者が多く、その中でも認知症自立度が高いほど利用者が多い。

認知症自立度	生活援助	身体介護	身体・生活複合型	合計
自立	174	6	15	195
I	98	6	15	119
II a	43	3	4	50
II b	11	0	5	16
III a	4	0	0	4
III b	2	0	0	2
合計	332	15	39	386



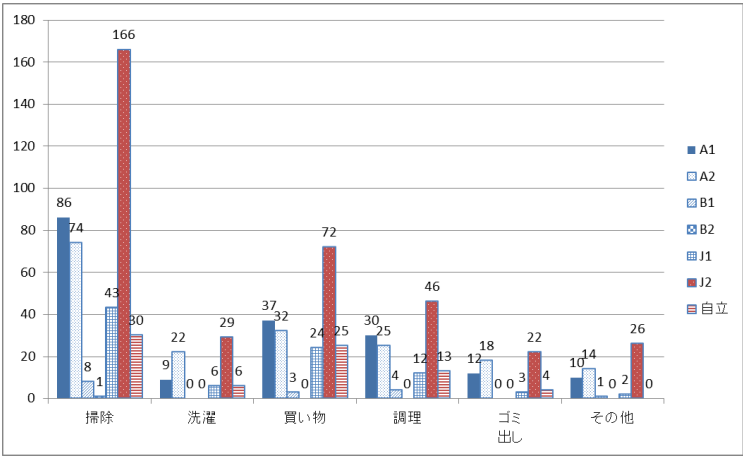
在宅生活を送る上で、生活援助を必要とする高齢者が多く、サービスを利用しながら在宅生活を希望している高齢者が多いことが分かる。

介護予防訪問介護【生活援助の内容】

(1) 寝たきり度順

障がい自立度に関係なく、掃除を希望する利用者が最も多く、次いで、買い物や調理の支援を希望する利用者が多い。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 80% 近くの割合を占めている。

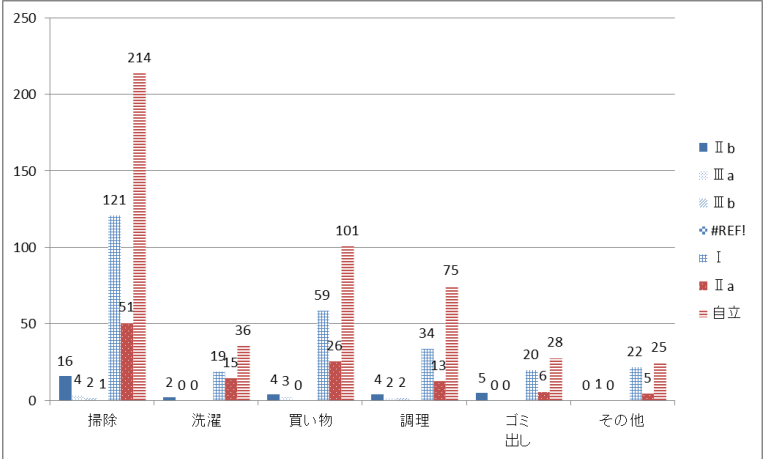
障がい自立度	掃除	洗濯	買い物	調理	ゴミ出し	その他	合計
自立	30	6	25	13	4	0	78
J1	43	6	24	12	3	2	90
J2	166	29	72	46	22	26	361
A1	86	9	37	30	12	10	184
A2	74	22	32	25	18	14	185
B1	8	0	3	4	0	1	16
B2	1	0	0	0	0	0	1
合計	408	72	193	130	59	53	915



(2) 認知度順

認知症自立度に関係なく、掃除を希望する利用者が最も多く、次いで、買い物や調理の支援を希望する利用者が多い。また、認知症自立度が低くなるほど利用者は減っていく。

認知症自立度	掃除	洗濯	買い物	調理	ゴミ出し	その他	合計
自立	214	36	101	75	28	25	479
I	121	19	59	34	20	22	275
II a	51	15	26	13	6	5	116
II b	16	2	4	4	5	0	31
III a	4	0	3	2	0	1	10
III b	2	0	0	2	0	0	4
合計	408	72	193	130	59	53	915



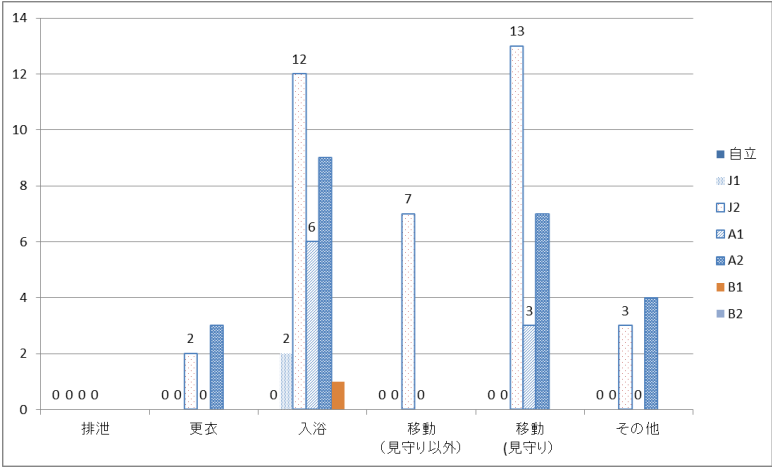
身体的に一部支援を要する高齢者は、生活援助を受けながらであれば在宅での生活が可能であるが、認知症自立度が低くなると在宅での生活が困難になっていることが予想される。

介護予防訪問介護【身体介護の内容】

(1) 寝たきり度順

入浴及び移動（見守り）のサービス利用者が 73%の割合を占めている。また、障がい自立度 J2 から A2 の利用者が 96%近くの割合を占めている。

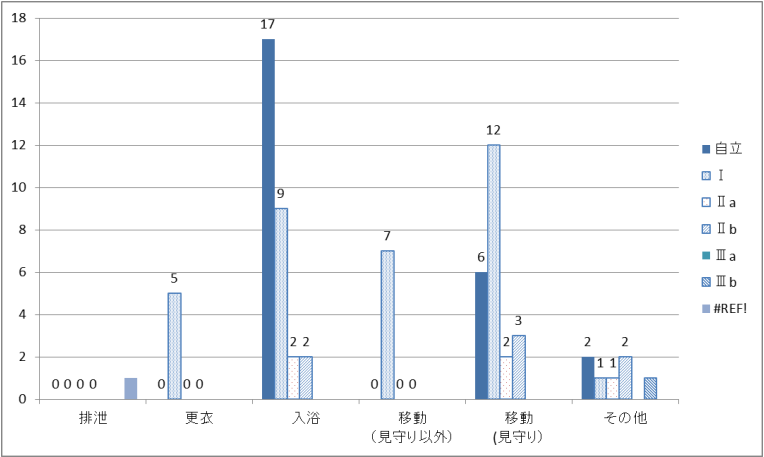
障がい自立度	排泄	更衣	入浴	移動 (見守り以外)	移動 (見守り)	その他	合計
自立	0	0	0	0	0	0	0
J1	0	0	2	0	0	0	2
J2	0	2	12	7	13	3	37
A1	0	0	6	0	3	0	9
A2	0	3	9	0	7	4	23
B1	0	0	1	0	0	0	1
B2	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	5	30	7	23	7	72



(2) 認知度順

入浴及び移動（見守り）のサービス利用者が 73%の割合を占めている。また、認知症自立度の自立から I までの利用者が 82%近くの割合を占めている。

認知症自立度	排泄	更衣	入浴	移動 (見守り以外)	移動 (見守り)	その他	合計
自立	0	0	17	0	6	2	25
I	0	5	9	7	12	1	34
II a	0	0	2	0	2	1	5
II b	0	0	2	0	3	2	7
III a	0	0	0	0	0	0	0
III b	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	5	30	7	23	7	72



身体的に一部支援を要する高齢者は、在宅で生活を続けるうえで、入浴や移動（見守り）などの際に身体的に不便が生じていることがわかる。

